

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1140004		病弱児の心理・生理・病理 (Psychology, Physiology, and Pathology of Children with Health Impairments)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部			氏名 古長治基 E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp 内線 6147											
授業の概要	病弱教育には様々な障害、疾患が含まれる。そのような多様な疾患をもつ病弱の児童・生徒それぞれの病気を正しく理解し、それぞれの疾患の生理、病理的理解及び心理的特徴と教育の場における配慮について学習する。さまざまな病気を抱える児童・生徒の心理的特徴と配慮について必要な知識を身に付け、理解する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 病弱の児童・生徒の主要な疾患について記述することができる																	
目標2 疾患をもつ児童・生徒の心理的特徴と教育における配慮について具体的に説明することができる																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 健康・病気・障害の概念																	
2 身体づくりと病気の種類																	
3 遺伝性疾患の子どもとその疾患特性																	
4 神経系疾患の子どもとその疾患特性																	
5 循環器疾患の子どもとその疾患特性																	
6 呼吸器疾患の子どもとその疾患特性																	
7 悪性腫瘍の子どもとその疾患特性：白血病・腫瘍																	
8 悪性腫瘍の子どもとその疾患特性：緩和医療とターミナルケア																	
9 腎・泌尿器疾患の子どもとその疾患特性																	
10 内分泌疾患の子どもとその疾患特性																	
11 消化器・肝臓・栄養疾患の子どもとその疾患特性																	
12 筋疾患の子どもとその疾患特性																	
13 心身症・精神疾患の子どもとその疾患特性																	
14 難病を抱える者の体験																	
15 病気、障害の受容とセルフケア：教育・医療・保健・福祉の連携と支援																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	各テーマの講義内容に応じて学生が自らの理解をまとめる機会を設ける。					工夫 その 他の										
	B:意見の表現・交換	。学生からの疑問を元に、ディスカッションする機会を設ける。															
ニテ	C:応用志向																
ンイ	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(15h)															
	事後学修	関連する資料を調べる、読む等すること(15h)															
教科書	テキストは指定しない。適宜資料を配布する。																
参考書	特別支援学校学習指導要領等 小野次朗・西牧謙吾・榊原洋一(編著)(2011) 特別支援教育に生かす 病弱児の生理・病理・心理 ミネルヴァ書房 全国特別支援学校病弱教育校長会(2012) 特別支援学校の学習指導要領を踏まえた病気の子どものガイドブック ジアース教育新社																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	討論への貢献	20%															
	課題レポート	30%															
	期末試験	50%															
注意事項	なし。																
備考	疑問や自分の意見について積極的に発言すること。発表、議論には参加者の積極的な参加を求める。																
リンク																	
	URL																